

クモ類

クモ類は国内には数千種いると言われ、まだ未分類のものもあり、新種のである可能性がある。この調査では初めの 2003 年からの数年間はクモ類の調査はおおまかに行っただけで、確認種数は少ない。クモ類はその習性、形態や網など、気持ち悪いとか、網がベトベトするためか、嫌いだとか無関心の人が多い。しかし、クモに興味を向けてみると、様々な形態と生態、生息場所による特性、独特な狩りの方法、それと、身近な隣人なので、非常に魅力的である。またクモ類は農業被害を与える小昆虫を捕食する、生態系の大事な構成種である。

クモ類は雌雄で大きく形態が異なり、雄より雌のほうが大きく、別種のように見えることが普通である。今回の調査では市内で 23 科 140 種を確認した。小さい種が多いので、見逃すことも多いが、庭や、野原、山林、畑などに沢山生息し、興味をもって観察すれば魅力的な生態を見せてくれるだろう。

調査での出現種			調査での出現種		
No	科名	種名	No	科名	種名
1		アシナガグモ	27		アズマカニグモ
2		アシナガグモ科 sp	28		オオヤミイロカニグモ
3		ウロコアシナガグモ	29		カニグモ科 sp
4		エゾアシナガグモ	30		コハナグモ
5		オオシロカネグモ	31	カニグモ科	セマルトラフカニグモ
6		キララシロカネグモ	32		トラフカニグモ
7	アシナガグモ科	トガリアシナガグモ	33		ハナグモ
8		シコクアシナガグモ	34		ヤミイロカニグモ
9		ハラビロアシナガグモ	35		ヨコフカニグモ
10		ヒカリアシナガグモ	36		アカスジハシリグモ
11		メガネドヨウグモ	37	キシダグモ科	アズマキシダグモ
12		ヤサガタアシナガグモ	38		イオウイロハシリグモ
13		ヨツボシヒメアシナガグモ	39		キシダグモ科 sp
14		ウズグモ	40		イエオニグモ
15	ウズグモ科	カタハリウズグモ	41		イシサワオニグモ
16		マネキグモ	42		オニグモ
17		アサヒエビグモ	43		カラオニグモ?
18		エビグモ科 sp	44		カラスゴミグモ
19		キエビグモ	45		カラフトオニグモ
20		キハダエビグモ	46	コガネグモ科	キザハシオニグモ
21	エビグモ科	クマダハナグモ?	47		ギンメッキゴミグモ
22		シャコグモ	48		コガタコガネグモ
23		ヤマトヤドカリグモ	49		コガネグモ
24		ワカバグモ	50		コガネグモ科 sp
25		キンイロエビグモ	51		コガネグモダマシ
26	カニグモ科	アズチグモ	52		コゲチャオニグモ

調査での出現種		
No	科名	種名
53		ゴマジロオニグモ
54		ゴミグモ
55		サツマミノダマシ
56		ドヨウオニグモ
57		ナガコガネグモ
58		ナカムラオニグモ
59	コガネグモ科	ヌサオニグモ
60		ビジョオニグモ
61		ホシスジオニグモ
62		マルズメオニグモ
63		ヤマシロオニグモ
64		ヤマトゴミグモ?
65		ヨツデゴミグモ
66		ワキグロサツマミノダマシ
67		イナダハリゲコモリグモ
68		アオグロハシリグモ?
69		イモコモリグモ
70		ウツキコモリグモ
71		キクツキコモリグモ
72		キシベコモリグモ
73		キバラコモリグモ
74		コモリグモ科 sp
75	コモリグモ科	シッチコモリグモ
76		スジプトコモリグモ
77		チビコモリグモ
78		ナミコモリグモ?
79		ハマキコモリグモ?
80		ハリゲコモリグモ
81		ヒノマルコモリグモ
82		フジイコモリグモ
83		ヤマハリゲコモリグモ
84	ササグモ科	ササグモ
85		アシナガサラグモ
86	サラグモ科	クロケシグモ?
87		コサラグモ
88		ヒロテゴマガモ?
89	ジグモ科	ジグモ
90	ジボグモ科	ジボグモ
91	ジョロウグモ科	ジョロウグモ
92	センショウグモ科	センショウグモ
93	タナグモ科	クサグモ
94		コクサグモ
95	ナゲナワグモ科	オオトリノフンダマシ
96		シロオビトリノフンダマシ

調査での出現種		
No	科名	種名
97	ナゲナワグモ科	トリノフンダマシ
98		ウラシマグモ
99	ネコグモ科	ナガイツツグモ
100		アオオビハエトリ
101		アメイロハエトリ
102		アリグモ
103		イナズマハエトリ
104		エクスハエトリ
105		オスクロハエトリ
106		キレワハエトリ
107		タイリクアリグモ
108		ジャバラハエトリ
109		シッチハエトリ
110	ハエトリグモ科	シラホシコゲチャハエトリ
111		チャイロアサヒハエトリ
112		デーニッシュハエトリ
113		ネコハエトリ
114		マミクロハエトリ
115		マミジロハエトリ
116		ヤサアリグモ
117		ヤガタアリグモ
118		ヤハズハエトリ
119		ヨダンハエトリ
120		クワガタアリグモ
121	ハグモ科	ネコハグモ
122		オオヒメグモ
123		オナガグモ
124		カグヤヒメグモ
125		クロマルイソウロウグモ
126	ヒメグモ科	オオツリガネヒメグモ
127		コアカクロミジグモ?
128		チリイソウロウグモ
129		ヒメグモ
130		ヒメグモ科 sp
131		アシナガコマチグモ
132	フクログモ科	カバキコマチグモ
133		トビイロフクログモ
134		ヤマトコマチグモ
135	ヤチグモ科	ヤチグモ科 sp
136	ユウレイグモ科	ユウレイグモ
137		ユウレイグモ科 sp ?
138		ワシグモ科 sp
139	ワシグモ科	シノノメトンビグモ
140		クロチャケムリグモ



ジグモ

ジグモ科 ジグモ

木の根元や塀の土台に網を作る。地中 10cm くらいの深さがあり、この中に隠れて、近くにきた虫を捕える。以前には家の周辺にも多くの個体があったが、最近では市街地内では見かけなくなった。市民の森にはまだ個体数が多く、木の根元に多くの住居が作られている。地上部を持って引き上げて捕えるのが遊びだったが、なかなか難しく獲れない。童歌もあったのを、文章を書いていたら急に思い出した。「チチグモ、チチグモ、ミズクミアーガレ。」



ジグモの巣

ハグモ科 ネコハグモ

1 cm 以下の小さなクモで、庭先や道端の広葉樹の葉の表面の中央部に網を張り、住居をつくる。こんなところで獲物が捕れるのかと疑問に思ったが、11 月、この巣に沢山のユスリカの仲間などが捕食されていたのが意外であった。



ネコハグモ



マネキグモ

ウズグモ科 マネキグモ

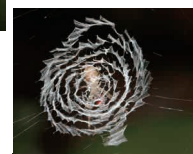
山林内の低木の枝や草の間に条網を張る。脚を伸ばした姿勢で静止していて、枯れ枝があるように見える。

ウズグモ科 カタハリウズグモ

網の形が渦を巻くような形態を持っている。その真ん中に潜み、獲物を待つ。林の中に見つかるが、個体数はそれほど多くはない。



カタハリウズグモ



カタハリウズグモの網

クモ・
ザトウムシ類



コクサグモ

タナグモ科 コクサグモ

生垣や森の林縁などに住み、水平のハンモック状の網と、奥には住居用のトンネル状の網を作り、その中に潜む。ごく普通に見られる種であるが、捕えようとする、住居の下にある別の穴から逃げ出してしまう。



ヤマハリゲコモリグモ

コモリグモ科 ヤマハリゲコモリグモ

コモリグモ類はまだ寒い頃からも畑や田圃の地上を走り回る姿を見かける。春になればさらに個体数が多くなり走る。しばらくすると、^{らんろう}卵囊をお尻の下につけた個体が見られるようになり、さらに進むと孵化した仔クモがお腹の上に乗っている。いろいろな種がいて、見つけ易いが、同じような模様で種判定は難しい。



キクズキコモリグモ

コモリグモ科 キクズキコモリグモ

田圃でも湿った場所において水の上でも平気で素早く歩いて行く。脚先に水を弾く機能を持っているようだ。忍者の水蜘蛛もこんな機能を真似したものだろうが、クモは8本の脚があって、体重を分散させるので、人間より水に浮くのがたやすいのだろう。



キシベコモリグモ

コモリグモ科 キシベコモリグモ

初夏の頃、河原の礫のある場所で見られる。青黒いクモで、都幾川では個体数も多く、普通に見ることができる。

キシダグモ科 アズマキシダグモ

畑などの地上や草の上を徘徊する。秋から冬にかけて見かけることが多い。一見するとコモリグモに見えるが、体はスマート。



アズマキシダグモ

キシダグモ科 イオウイロハシリグモ

草の上によく見られる。網は張らずに、草の間を移動して獲物を探すが、静止していることが多い。体長は2 cm を超える個体もいて、広げた脚を含めると5 cm を超える。



イオウイロハシリグモ

ササグモ科 ササグモ

道端の葉の表面で獲物を狙い、静止している姿をよく見かける。近づいてもあまり動かないが、手を伸ばすと葉の裏側に回って逃げる。



ササグモ

ヒメグモ科 オオヒメグモ

ガードレールなどの人工物や、樹の又になった部分に不規則な網を張っている。ヒメグモの仲間は他のクモも獲物にして食べる。強そうには見えないのだが、見掛けとは違うようだ。



オオヒメグモ



オナガグモ♀

ヒメグモ科 オナガグモ

この緑の草片のゴミのようなものがクモである。体長は2から3cmになる。秋になると大きくなった個体が多く、よく目撃できる。出す糸には粘性が無く、その糸を伝わってくる他のクモを捕食する。



クロマルイソウログモ♀

ヒメグモ科 クロマルイソウログモ

ヒメグモ類の他のクモの巣に侵入して巣の主を捕食する。卵囊^{らんのう}の近くで待っていて、孵化して出てくる仔グモも食べるといふ。



チリイソウログモ♀

ヒメグモ科 チリイソウログモ

クサグモ類やヒメグモ類の網の上部に不規則網をつくり、網の主が捕えた獲物を横取りする。ちゃっかり寄生する種だ。



アシナガサラグモ♀

サラグモ科 アシナガサラグモ

網の下側についているので、背中を写す写真は難しい。市内では林に生息するが、サラグモの仲間はこの1種だけが良く見つかる。

ナゲナワグモ科 オオトリノフンダマシ

鳥の糞に似た形をしていて、昼間は葉の裏側に脚をたたんだ写真のような姿勢で動かずにいる。夜になると網を張り、接近した獲物に対して粘球のついた糸を投げて捕える。ただし、夜の生態を自分は見たことがない。



オオトリノフンダマシ♀

ナゲナワグモ科 シロオビトリノフンダマシ

農耕地脇の草むらなどに生息する。トリノフンダマシの仲間は市内では3種が見られる。写真の2種と、トリノフンダマシという種で、上記2種より、褐色に白い液で塗ったような丸い身体で、鶏の糞にさらに似ている。山地にはもっとカラフルな種もいて、人気の高い分類群である。



シロオビトリノフンダマシ♀

アシナガグモ科 アシナガグモ

水田やまわりの水路の中に水平の丸い網を張っている。昼間は網の支柱の草の先端付近に脚を伸ばして隠れている。



アシナガグモ♀

アシナガグモ科 オオシロカネグモ

市民の森や、林のある場所で見られた。網の中心で獲物を待つ。夏になると出現し、個体数も多かった。



オオシロカネグモ♀



キララシロカネグモ♀

アシナガグモ科 キララシロカネグモ

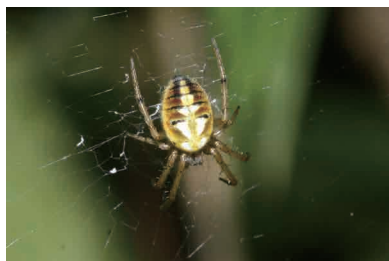
林内に生息し、夏になると出現する。腹部全体が金色で細い黒い紋様があり、美しい。水平円網を張り、網の支える葉裏に潜んでいる。



ジョウグモ♀

ジョロウグモ科 ジョロウグモ

市内ではクモ類の中で、一番ポピュラーな種で山林や庭先まで広く分布する。雌は大きく体長は4 cm くらいになり、脚を含めると8 cm くらいまでなる。網には雄も同居しているが、別種に見えるほど小さく、色彩も地味である。繁殖をするために雌と交尾するが、雌に捕えられてよく食べられてしまうという。繁殖は命がけのようだ。



トヨウオニグモ♀

コガネグモ科 トヨウオニグモ

道端の草の間に網を張っていて個体数も多く、よく見かける。1 cm 程度の体長で網の中央に陣取り、獲物を待っている。



ビジョオニグモ♀

コガネグモ科 ビジョオニグモ

名前の由来は知らないが、連想する姿は、女性の背に彫られた刺青の絵柄。ただし、腹部の模様と姿勢好は美女なのか？ 平地の山林に近い道端の灌木にいるのを数回見た。個体数は少ないようだが、稀なようでもない。

コガネグモ科 イシサワオニグモ

美しい種で体長も2cmくらいになり大型である。山林内や河畔林で数回見たことがある。この調査でも比丘尼山の人家近くの灌木、都幾川の河畔林の草むらで記録した。



イシサワオニグモ♀

コガネグモ科 オニグモ

大型の種で人家の屋根と電線などをわたる大きな網を張る。以前は普通の種であったが、最近はあまり見かけない。子供頃、この種の網を針金の輪にからませ、セミなどを捕えようとした。首尾はどうだったか忘れてしまったが、網にアブラコオモリやアブラゼミが架かっていたのを見たことがある。



オニグモ♀

コガネグモ科 コガネグモ

コガネグモ科の名前を冠されている種で、腹部の横縞は美しい。大型であるが、市内では個体数は少ない。横浜の友人の話では棒の上で互いを戦わせるクモ合戦に使うという。市内ではそんな遊びは聞かない。この種の生息数が少ないことなのか。



コガネグモ♀

コガネグモ科 コガタコガネグモ

森林内に生息する小型のコガネグモで、木の間に網を張っている。驚かすと網から飛び降り隠れてしまう。市民の森などでは多くの個体が見られる。



コガタコガネグモ♀



ナガコガネグモ♀

コガネグモ科 ナガコガネグモ

市内では一番身近なコガネグモで、日当たりの良い野原や道端などでも見られる。少し太いギザギザになった隠れ網の中心に陣取り、網を指で触ると、網全体を大きく揺らす。子供の頃は地震蜘蛛と呼ばれていた覚えがある。



サツマミノダマシ♀

コガネグモ科 サツマミノダマシ

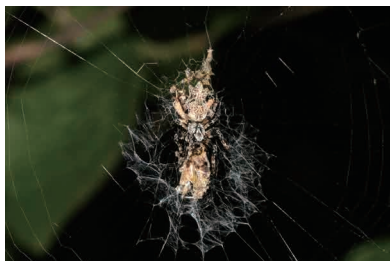
草の間に垂直の正常円網を張り、昼間は網の支柱の葉裏で潜むことも多い。腹部は緑色、下面も緑色、腹面に黄色の線をもつ。個体数も多く、緑色の体は美しい。



ワキグロサツマミノダマシ♀

コガネグモ科 ワキグロサツマミノダマシ

サツマミノダマシに似ているが、出現は少し遅い。腹部は背面は緑だが、腹面は褐色。網の中心部に陣取っている。



ゴミグモ

コガネグモ科 ゴミグモ

垂直の網を張り、網の中央にゴミを集め、その上に居るが、クモ自体もゴミに似ている。クモ類にはこのように擬態をするような格好で、ひたすら獲物が網に掛かるのを待っている。

エビゲモ科 キハダエビゲモ

太い樹木の木肌に付いている。樹皮面を歩き回り昆虫などの獲物を捕食する。卵囊の上に親グモは乗って保護する。



キハダエビゲモ

エビゲモ科 シャコグモ

林縁の低木の葉の上に静止して獲物を待っている。1 cm 程度の大きさで、6月から8月に見られる。



シャコグモ

エビゲモ科 ヤマトヤドカリグモ

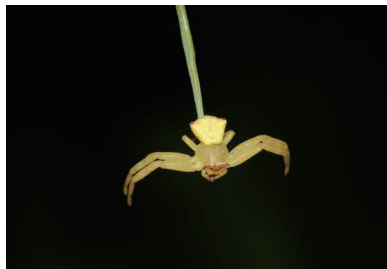
林縁の草や低木の葉上に見られる。葉の間を歩き回り、小昆虫を捕食する。4月頃には出現し、8月まで見られる。



ヤマトヤドカリグモ

カニゲモ科 アズチグモ

草むらや林縁の葉の上など、あちこちで見られる。花の中に潜み、訪れる飛翔昆虫を捕える。色彩、斑紋は変異が多い。顔にはサングラスをかけているような三角形の褐色斑があり、ちょっと悪者風。



アズチグモ



ハナグモ

カニグモ科 ハナグモ

どこにでもいる普通種で、花の側面や中に潜み、飛来する小昆虫を捕食する。腹部の斑紋には変異が多い。4月から秋まで見られる。



カバキコマチグモ♀

カバキコマチグモの巣

フクログモ科 カバキコマチグモ

草原のススキなどの多い場所に住む。ススキの葉を巻いて、昼間はそこに潜み、夜間には出て昆虫などを捕食する。ススキを巻いた中に産卵し、卵を守るが、孵化した仔グモは親を食べて巣立っていく。このクモは咬まれると痛いので、取り扱いには注意が必要。



ウラシマグモ

ネコグモ科 ウラシマグモ

地表面や樹皮上を徘徊する、体長3mmくらいの小さなクモである。和名は京都の無人島で最初に発見されたことから、浦島伝説に因む。



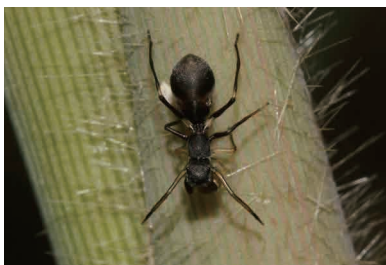
アオオビハエトリ♀

ハエトリグモ科 アオオビハエトリ

平地に住み、道端や庭などで見ることが多い。地表を歩き回り、アリを捕える。

ハエトリグモ科 アリグモ

里山から庭まで広く分布している。アリによく似ていて、樹木や葉の上を歩きまわり、獲物を探している。アリだと思っていると、糸を引いて枝から降りるのでクモだと気づく。



アリグモ♀

ハエトリグモ科 ヤサアリグモ

平地から山地まで広く分布していて、草や葉の上を徘徊する。アリグモより少し小さく細く 5 mm 前後の体長で小型。



ヤサアリグモ♂

ハエトリグモ科 デーニッシュハエトリ

樹木の幹の上を歩いていて獲物を探す。樹皮の下などに袋状の住居を作る。写真は雌で、雄は褐色で地味な色をしている。



デーニッシュハエトリ♀

ハエトリグモ科 マミジロハエトリ

林縁などに普通に見られる。体長 7 mm はくらいで、雄の顔前面の毛が白く、他は黒い。写真は雄で、雌のお腹は灰色。



マミジロハエトリ♂



ヤハズハエトリ♂

ハエトリグモ科 ヤハズハエトリ

河原の草の上、特にススキ類などのイネ科の植物の葉の上を動き回る。雄は黒色の体に白い矢筈模様がよく目立つ。雌はまったく別な模様をしている。クモ類は性的二型の差が大きい。



ヤハズハエトリ♀



ネコハエトリ♂

ハエトリグモ科 ネコハエトリ

林縁の草の上や樹木の枝や葉などの上を徘徊する。7 mm くらいのクモで、春から夏までの間見られる。



ヨダンハエトリ♂

ハエトリグモ科 ヨダンハエトリ

林内の木の樹皮上でよく見られる。頭部前面に赤い横帯と、お腹の白と赤の横帯が目立つ。前脚を上げて雌の周りを動き、求愛する。体長は6～7 mm くらいで、6月から7月に出現する。

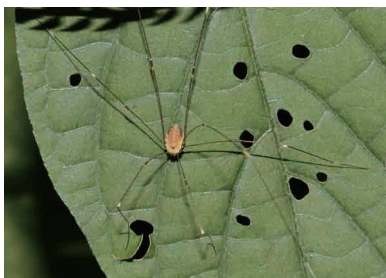
ザトウムシ類

ザトウムシの仲間は森林の地上を徘徊している。東秩父の山地では数種を見ることができる。身体は5 mm 程度から1 cm くらいだが、総じて歩脚は長く、脚を含めると15cm もあるような大きな種も見られる。身体前方の中央に眼丘がある。

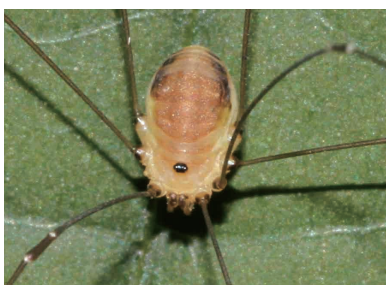
調査での出現種		
No	科名	種名
1	マザトウムシ科	モエギザトウムシ

カワザトウムシ科 モエギザトウムシ

調査では市民の森、比丘尼山などで1種のみを確認した。薄暗い林内に生息し、長い脚を巧みに動かして、ゆっくりと移動する。身体は5 mm 程度の大きさだが、すべての脚を含めると5 cm 以上の大きさになる。図鑑には雑食とあるが、まだ捕食しているところは見えていない。歩行するときに、この長い脚が絡むことはないのだろうか。



モエギザトウムシ胴体



モエギザトウムシ身体

(参考)

ザトウムシ目 sp

調査地外であるが、都幾川の稲荷橋付近の草原で見つけた個体は、脚が短く、ザトウムシのイメージから遠かった。ザトウムシ目にはいろいろなタイプがいる。



ザトウムシ sp